

評価対象年度	平成26年度	<b>施策評価シート(震災復興用)</b>		政策	5	施策	1
施策名		1 道路, 港湾, 空港などの交通基盤の確保・整備促進		施策担当 部局	経済商工観光部, 土木部		
「宮城県震災復興計画」における体系		5 公共土木施設の早期復旧 【公共土木施設】		評価担当 部局 (作成担当 課室)	土木部 (道路課)		

<b>施策の方向</b> (「宮城の 将来ビジョン ・震災復興 実施計画」の 行動方針)	<b>①高規格幹線道路等の整備</b> ◇ 復興道路に位置づけられた三陸縦貫自動車道などの整備を促進し, 防災道路ネットワークを形成する高規格幹線道路の充実強化を図る。 ◇ みやぎ県北高速幹線道路など地域高規格道路の整備を推進し, 東西広域連携軸を強化する。
	<b>②主要幹線となる国道, 県道の整備及び復興まちづくりと一体となった関連道路の整備</b> ◇ 災害に強い幹線道路ネットワークを整備するため, 国道108号, 国道113号, 国道347号, 国道398号等の主要幹線道路の整備を推進する。また, 安全な道路利用が図られるよう交通安全施設等の整備や災害防除対策を着実に進める。 ◇ 沿岸部においては, 離島振興のため大島架橋事業を進めるほか, 海岸保全施設の整備と併せて, 多重防御による防災・減災機能を有する高盛土構造の防災道路について検討し, 復興まちづくりと一体的に整備を進める。
	<b>③橋梁等の耐震化・長寿命化</b> ◇ 橋梁などの道路関連施設における耐震化計画及び長寿命化計画に基づき, 順次新たな対策を推進し, 耐震化・長寿命化を着実に実施する。
	<b>④港湾機能の拡充と利用促進</b> ◇ 仙台塩釜港のさらなる利用拡大や効率的な管理運営に向けて, 埠頭用地拡張や防波堤の延伸など, 港湾機能の拡充を図る。 ◇ 貨物集荷, 企業誘致や新規航路の開拓など, 積極的なポートセールスを推進する。
	<b>⑤仙台空港の利用促進</b> ◇ 仙台空港利用の旅客・貨物需要を喚起するとともに, エアポートセールスに取り組む。 ◇ 国が進める空港経営改革の動きに合わせ, 仙台空港の経営一体化及び民間運営委託を推進し, 空港の機能充実と周辺地域の活性化を図る。 ◇ 仙台空港鉄道株式会社改革支援プラン行動計画を着実に推進し, 仙台空港鉄道株式会社の早期経営安定化を図る。

決算(見込)額 (千円)	年度	平成26年度 (決算(見込)額)	平成27年度 (決算(見込)額)	平成28年度 (決算(見込)額)	平成29年度 (決算(見込)額)
	県事業費	107,894,879	-	-	-

※決算(見込)額は再掲分含む

<b>目標指標等</b>	<b>■達成度</b> A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず, 達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で, 判定できない」					
	<b>■達成率(%)</b> フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)					
		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)
	1 公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)の執行状況(%)	- (平成22年度)	73.0% (平成26年度)	75.0% (平成26年度)	A 102.7%	100% (平成29年度)
2 主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数(橋) [累計]	0橋 (0%) (平成22年度)	29橋 (23.0%) (平成26年度)	27橋 (21.4%) (平成26年度)	B 93.1%	87橋 (69%) (平成29年度)	
3 仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量 [実入り](TEU)	155,454TEU (平成22年)	160,591TEU (平成26年)	154,545TEU (平成26年)	B 96.2%	176,000TEU (平成29年)	

平成26年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	43.0%	25.8%	III

※満足群・不満群の割合による区分

- I: 満足群の割合50%以上  
かつ不満群の割合25%未満
- II: 「I」及び「III」以外
- III: 満足群の割合50%未満  
かつ不満群の割合25%以上

■ 施策評価（原案）	概ね順調
<b>評価の理由</b>	
目標指標等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)の執行状況(%)」については、目標値73.0%に対して、実績値75.0%と目標値を超えていることから、達成度は「A」に区分される。</li> <li>・「主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数(橋[累計])」については、目標値29橋(23.0%)に対して、実績値27橋(21.4%)と目標値を下回っており、達成度は「B」に区分される。</li> <li>・「仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量[実入り](TEU)」については、目標値160,591TEUに対して、実績値154,545TEUと目標値を若干下回っていることから、達成度は「B」に区分される。</li> </ul>
県民意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年県民意識調査結果では、「重要」又は「やや重要」とする「高重視群」の割合が78.3%と高い期待が寄せられている一方で、施策に対する満足群が43.0%と過半数に達していない。</li> </ul>
社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災からの一日も早い復旧・復興を目指し、単なる原形復旧ではなく、地震や津波による被災事象を踏まえ、施設の構造や断面等の技術的な検討を通じて、施設の再構築に取り組んできたところである。</li> <li>しかしながら、今回の被災は、甚大かつ広範囲であり、これまでに経験したことのない大規模なものであることから、復旧・復興事業の推進にあたっては、マンパワー不足による発注者体制の再構築、建設資材や請負業者・建設技術者の確保、入札不調への対応などの問題が顕在化しているほか、市町のまちづくり計画をはじめとする他事業との調整等に時間を要しており、事業進捗への影響もでている。</li> </ul>
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「①高規格幹線道路等の整備」では、仙台松島道路が全線4車線化したほか、みやぎ県北高速幹線道路の整備を推進するなど地域連携の強化を図った。</li> <li>・「②主要幹線となる国道、県道の整備及び復興まちづくりと一体となった関連道路の整備」では、被災した道路等の復旧が沿岸部を除き概ね完了したほか、国・県道において新規事業着手するなど整備を推進した。</li> <li>・「③橋梁等の耐震化・長寿命化」では、地震時における主要幹線道路等の橋梁耐震性、安全性を確保するため、耐震化工事を推進(27橋完了)したほか、橋梁長寿命化計画に基づき、老朽化した橋梁について予防保全的に補修を行った(46橋完了)。</li> <li>・「④港湾機能の拡充と利用促進」では、仙台塩釜港(仙台港区)において、船舶の大型化やコンテナ貨物、自動車関連貨物の増大に対応するため、高砂コンテナターミナルの拡張及び高松埠頭の整備を推進した。</li> <li>・「⑤仙台空港の利用促進」では、知事及び副知事によるトップセールスを含めたエアポートセールス(平成26年度実績208件)により、国内線、国外線の増便の決定又は実施となったほか、仙台空港民営化の実現に向けて関係機関との協議・調整を図り、民営化手続きが開始された。</li> <li>・目標指標の対象となる公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)の執行状況については、沿岸部を除き概ね完了(平成26年度末現在、1,459か所(道路1,365か所、橋梁94か所))しており、目標値73.0%に対し、実績値75.0%と上回っていることから順調に推移していると考えられる。</li> <li>・橋梁耐震化事業については、目標値29橋に対し、27橋が完了している。目標値は下回ったものの34橋において工事に着手(次年度分含む)していることから概ね順調に推移していると考えられる。</li> <li>・仙台塩釜港のコンテナ貨物取扱量については、震災前の平成22年取扱量(155,454TEU)に対し、平成26年度取扱量(154,545TEU)となっており、99.4%まで回復となり、概ね順調に推移していると考えられる。</li> <li>・よって、施策は「概ね順調」と評価した。</li> </ul>

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

<b>施策を推進する上での課題と対応方針（原案）</b>	
課題	対応方針
<道路> ・公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)については、平成29年度の完成に向け、適正な事業進行管理が必要である。 ・橋梁の耐震化については、入札不調等による事業進捗の遅れが懸念される。	<道路> ・復興まちづくり計画や河川・漁港施設の復旧計画との調整を進めるとともに、用地交渉や詳細設計も並行して進める。 ・入札不調等の対応として、橋梁補修工事との合併等による発注ロットの拡大等を図る。
<港湾> ・公共土木施設災害復旧事業(港湾)については、まちづくりや港湾関係者、地域住民との調整から復旧完了が平成27年以降にずれ込む箇所が生じている。	<港湾> ・丁寧かつ迅速な調整を図るとともに、完了目標に向けた進捗管理を行っていく。
<空港> ・東日本大震災前に比べ、仙台空港国際線の利用者数の回復が遅れている。	<空港> ・新規航路路線の周知を図るとともに、航空会社に対し、増便や機材の大型化、新規路線の開設等を働きかける。

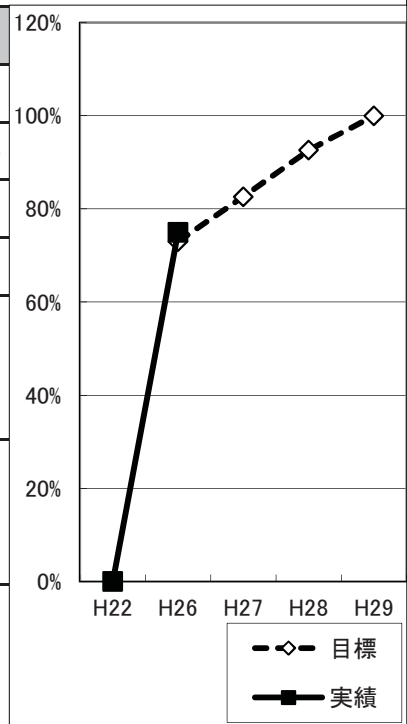
評価対象年度 平成26年度

政策 5 施策 1

**目標指標等の状況**

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 スtock型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29
	公共土木施設災害復旧事業(道路・橋梁)の執行状況(%) [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H26	H27	H28	H29
		目標値	-	73.0%	82.6%	92.6%	100.0%
		実績値	0.0%	75.0%	-	-	-
		達成率	-	102.7%	-	-	-

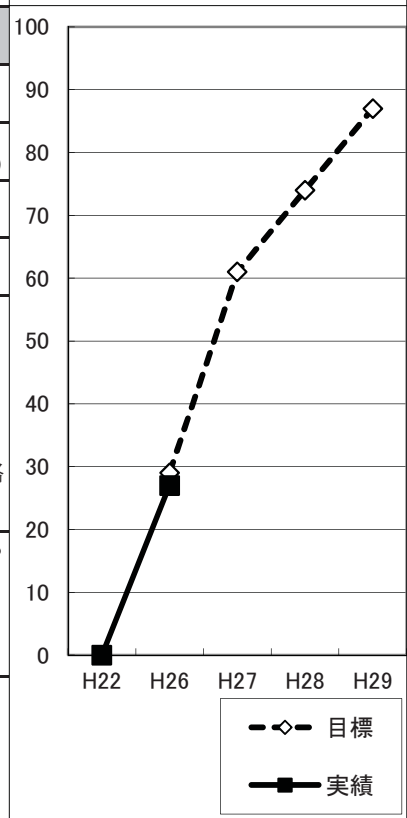


**目標値の設定根拠**  
 ・公共土木施設災害復旧(道路・橋梁)については、全体1,565か所のうち、原則として3か年での完了を目指す。  
 ・ただし、まちづくり復興計画などの他事業と調整が必要な箇所は、7か年以内の完了を目指す。

**実績値の分析**  
 ・沿岸部を除き、概ね完了(平成26年度末現在、1,459か所(道路1,365か所、橋梁94か所)完了)しており、順調に推移している。

**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 -

2	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29
	主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数(橋)[累計] [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H26	H27	H28	H29
		目標値	-	29橋 (23.0%)	61橋 (48.4%)	74橋 (58.7%)	87橋 (69.0%)
		実績値	0橋 (0.0%)	27橋 (21.4%)	-	-	-
		達成率	-	93.1%	-	-	-



**目標値の設定根拠**  
 ・次の条件により橋梁数を設定している。  
 ・「昭和55年以前の道路橋示方書に基づき設計された橋梁で、橋長15m以上の複数径間及び橋長25m以上の単径間の橋梁」「地域の主要な幹線道路上にある橋梁(交通量10,000台/日以上・都市部、5,000台/日以上・地方部)」「100m以上の大規模な橋梁」「集落が孤立する可能性がある道路の橋梁」「第三者に大きな被害を与えるおそれがある橋梁(鉄道・道路架空、ライフライン添架)」「阪神淡路大震災の耐震設計基準(平成8年道路橋示方書)を満足していない緊急輸送路上にある橋梁」

**実績値の分析**  
 ・平成26年度の橋梁耐震化完了数は27橋となっており、目標値を下回っているものの、現在34橋において工事に着手しており、平成27年度の目標達成に向け事業を進めている。

**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 -

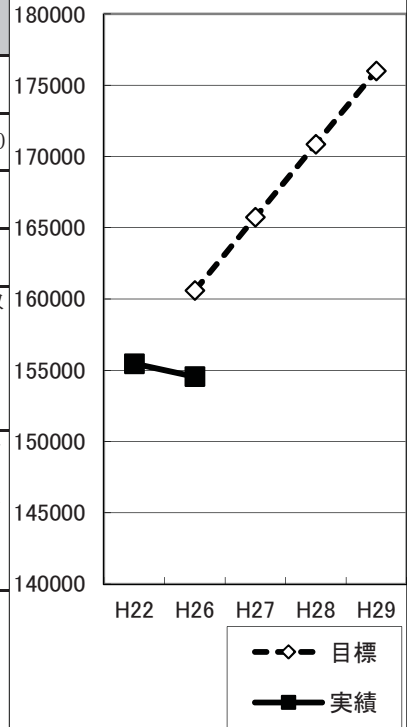
評価対象年度 平成26年度

政策 5 施策 1

**目標指標等の状況**

■達成率(%) フロー型の指標: 実績値/目標値 ストック型の指標: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)  
 目標値を下回ることを目標とする指標: (初期値-実績値)/(初期値-目標値)

3	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29
	3 仙台塩釜港(仙台港区)の コンテナ貨物取扱量(TEU) [フロー型の指標]	指標測定年度 H22 H26 H27 H28 H29	初期値 H22	155,454	160,591	165,727	170,864
	目標値	-	-	160,591	165,727	170,864	176,000
	実績値	155,454	154,545	-	-	-	-
	達成率	-	96.2%	-	-	-	-
目標値の 設定根拠	・平成29年目標値は、震災以前の水準に留まらず、さらなる発展に向けて港湾取扱貨物量を伸ばしていくこととしていることから、平成25年6月に改訂した仙台塩釜港港湾計画において推計した平成37年貨物量を基に、途中年次における貨物量を平成25年目標値から線形補間した値としている。						
実績値の 分析	・東日本大震災の影響により、平成23年の取扱量は前年に比べ大幅に落ち込んだが、平成26年実績値では、震災以前の平成22年と比べ99%まで回復し、目標値に対し96.1%となった。取扱量が回復している背景として、震災からの復興需要の高まりを受けて、製材や木製品などの取扱いが増加していることが要因と考えられる。						
全国平均 値や近隣 他県等と の比較	-						



評価対象年度	平成26年度
--------	--------

政策	5	施策	1
----	---	----	---

県民意識調査結果									
調査実施年度 (調査名称)			平成24年度 (平成24年県民意識調査)		平成25年度 (平成25年県民意識調査)		平成26年度 (平成26年県民意識調査)		
県 全 体	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群	56.3%	85.0%	45.4%	77.7%	44.1%	78.3%
		やや重要	の割合	28.7%		32.3%		34.2%	
		あまり重要で はない	低重視群	4.1%	4.8%	6.0%	7.0%	4.8%	6.3%
		重要ではない		0.7%		1.0%		1.5%	
		分からない		10.2%		15.2%		15.3%	
		調査回答者数		1,926		2,019		1,715	
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群	10.1%	49.1%	7.7%	41.1%	8.3%	43.0%
		やや満足	の割合	39.0%		33.4%		34.7%	
		やや不満	不満群	20.2%	27.1%	20.0%	27.0%	18.5%	25.8%
		不満		の割合		6.9%		7.0%	
		分からない		23.7%		31.9%		31.3%	
		調査回答者数		1,904		1,998		1,692	
沿 岸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群	55.5%	86.8%	48.3%	79.3%	46.1%	80.1%
		やや重要	の割合	31.3%		31.0%		34.0%	
		あまり重要で はない	低重視群	3.1%	3.6%	4.6%	5.1%	4.9%	6.4%
		重要ではない		0.5%		0.5%		1.5%	
		分からない		9.7%		15.6%		13.5%	
		調査回答者数		786		812		674	
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群	8.0%	47.2%	8.2%	37.2%	9.6%	42.6%
		やや満足	の割合	39.2%		29.0%		33.0%	
		やや不満	不満群	20.5%	29.9%	21.9%	30.9%	19.4%	29.0%
		不満		の割合		9.4%		9.0%	
		分からない		22.9%		32.0%		28.4%	
		調査回答者数		767		804		666	
内 陸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群	57.1%	83.9%	43.6%	76.8%	42.8%	77.4%
		やや重要	の割合	26.8%		33.2%		34.6%	
		あまり重要で はない	低重視群	4.8%	5.6%	7.1%	8.5%	4.8%	6.3%
		重要ではない		0.8%		1.4%		1.5%	
		分からない		10.6%		14.5%		16.4%	
		調査回答者数		1,132		1,176		1,009	
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群	11.5%	50.3%	7.3%	43.9%	7.2%	43.2%
		やや満足	の割合	38.8%		36.6%		36.0%	
		やや不満	不満群	20.1%	25.4%	19.1%	24.4%	18.1%	24.0%
		不満		の割合		5.3%		5.3%	
		分からない		24.3%		31.7%		32.8%	
		調査回答者数		1,129		1,165		995	

※ 沿岸部 : 沿岸15市町  
内陸部 : 沿岸部以外の市町村



評価対象年度	平成26年度
--------	--------

政策	5	施策	1
----	---	----	---

宮城県震災復興推進事業											
評価番号	事業番号	事業名	平成26年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
1	① 01	高規格幹線道路整備事業	10,853,650	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				国が事業主体となる三陸縦貫自動車道などの高規格幹線道路の整備等について、その事業費の一部を負担する。				・三陸縦貫自動車道 仙台松島道路の松島北IC～鳴瀬奥松島IC間が4車線供用(全区間4車線供用)(H27.3.30)。鳴瀬奥松島IC以北については、4車線化及び未供用区間の整備促進。			
	土木部 道路課	ビジョン 取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
		妥当	成果があった	効率的	維持	10,853,650	-	-	-		
2	① 02	地域高規格道路整備事業	3,643,460	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				県土の復興を支えるみやぎ県北高速幹線道路などの地域高規格道路の整備を促進し、地域連携の強化を図る。				・みやぎ県北高速幹線道路 Ⅱ期・Ⅳ期については、改良工事に着手。Ⅲ期については、調査設計、用地買収を実施。			
	土木部 道路課	ビジョン 取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
		妥当	成果があった	効率的	維持	3,643,460	-	-	-		
3	① 03	仙台東部地区道路ネットワーク検討調査	18,700	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				東日本大震災後の道路環境の変化などを踏まえ、仙台東部地区の道路ネットワークについて検証を行い、沿岸部の高規格道路と仙台都心間の円滑なアクセス策について検討する。				・「第2回仙台東部地区道路ネットワーク検討会」を開催し、震災後の社会経済環境の変化を踏まえ、人口、土地利用、産業、物流、観光及び防災などの観点について、現状と将来見通しに関する各種データを収集・分析し、仙台都市圏及び仙台東部地区における道路ネットワークの課題を整理。			
	土木部 道路課	ビジョン 取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
		妥当	成果があった	効率的	維持	18,700	-	-	-		
4	② 01	公共土木施設災害復旧事業(道路)	10,626,135	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				被災した道路及び橋梁等について、公共土木施設災害復旧事業により施設復旧を行う。				・沿岸部を除き、概ね完了。 ・平成26年度末現在、1,459か所(道路1,365か所、橋梁94か所)完了。			
	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
		妥当	成果があった	効率的	維持	10,626,135	-	-	-		
5	② 02	道路改築事業	7,489,535	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				震災により被災した地域を支援するため、国道や県道、市町村道(代行受託)の整備を行う。				・(主)中田栗駒線(若柳福岡)で供用開始(H26.11.13)。 ・(国)346号(飯土井),(主)古川登米線(大貫)で新規事業着手。			
	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
		妥当	成果があった	効率的	維持	7,489,535	-	-	-		

6	② 03	道路改築事業 (復興)	9,233,187	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		震災により被災した地域を支援するため、防災機能を強化した国道や県道の整備を行う。				・東日本大震災復興交付金事業について、(主)気仙沼唐桑線(東舞根)、(国)398号(相川)のトンネル工事に着手。					
	土木部 道路課	5④①に再掲 ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当				成果があった	効率的	維持	9,233,187	-	-	-	
7	② 04	離島振興事業 (道路)	2,057,525	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		震災により被災した離島地域を支援するため、架橋整備や島内道路整備を行う。				・(一)大島浪板線(大島架橋)は、架橋本体工事やトンネル工事等を推進。 ・(一)出島線(出島)は、改良工を実施。					
	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当				成果があった	効率的	維持	2,057,525	-	-	-	
8	② 05	交通安全施設等 整備事業	2,091,364	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		歩行者・自転車の安全確保や交通の円滑化を図るため、歩道整備や交差点改良を行う。				・国道113号丸森町大内工区で歩道の整備を完了した。					
	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当				成果があった	効率的	維持	2,091,364	-	-	-	
9	② 06	災害防除事業	2,214,182	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		道路利用者の安全性を確保するため、落石等の危険箇所について災害防除事業を行う。				・道路利用者の安全性を確保するため、落石等の危険箇所について災害防除事業を27か所で実施した。					
	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組32	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当				成果があった	効率的	維持	2,214,182	-	-	-	
10	② 07	道路維持修繕事業	9,793,429	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		災害時における緊急輸送道路の通行確保や復旧・復興を確実に実施するため、適切な道路管理を行う。				・安全で円滑な交通を確保するため、通常の舗装補修に加え、復興車両等の増加に伴う路面損傷箇所の補修を実施。					
	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当				成果があった	効率的	維持	9,793,429	-	-	-	
11	③ 01	橋梁耐震化事業	7,373,097	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		地震時における主要幹線道路等の橋梁耐震性、安全性を確保するため、耐震化を行う。				・平成26年度末時点で27橋の耐震化工事が完了した。					
	土木部 道路課	ビジョン 取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当				ある程度成果があった	概ね効率的	維持	7,373,097	-	-	-	
12	③ 02	橋梁長寿命化事業	2,131,804	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		橋梁の長寿命化を図るため、橋梁長寿命化計画に基づき、老朽化した橋梁について予防保全的に補修を行う。				・平成21年度に策定した橋梁長寿命化計画に基づき、46橋について対策を実施した。					
	土木部 道路課	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
妥当				成果があった	効率的	維持	2,131,804	-	-	-	

年度	緊急	事業名	事業費(千円)	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
13	④01	公共土木施設災害復旧事業(港湾)	17,718,050	被災した港湾施設等について、公共土木施設災害復旧事業により施設の復旧を行う。				・主要な港湾施設においては、復旧を概ね完了するとともに、海岸施設の復旧を推進した。			
		土木部 港湾課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	17,718,050	-	-	-
14	④02	港湾整備事業	5,501,937	宮城のみならず東北の復興と発展をけん引する中核的国際拠点港湾を目指し、より適切な管理・運営を図るとともに、港湾機能の拡充のための施設整備を推進する。				・仙台塩釜港(仙台港区)において、船舶の大型化やコンテナ貨物、自動車関連貨物の増大に対応するため、高砂コンテナターミナルの拡張及び高松埠頭の整備を推進した。 ・仙台塩釜港(石巻港区)において、船舶の大型化に対応するため、中央水路の浚渫、日和岸壁の増深を実施した。			
		土木部 港湾課	ビジョン 取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				妥当	成果があった	効率的	維持	5,501,937	-	-	-
15	④03	港湾整備事業(復興)	15,619,947	津波や高潮に対して安全な物流拠点機能を確保し、災害に強い港湾を形成するため、岸壁背後において防潮堤や漂流物対策施設を整備する。				・新設となる数十年～百数十年に一度程度のレベル1津波に対応した防潮堤について、住民や関係者との合意が得られた箇所から順次整備に着手した。			
		土木部 港湾課	5④①に再掲 ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				妥当	成果があった	効率的	維持	15,619,947	-	-	-
16	④04	港湾立地企業支援事業	568,580	仙台塩釜港(石巻港区)において、被災した企業岸壁や護岸を公共岸壁として再整備し、港湾立地企業の復興を支援する。				・仙台塩釜港(石巻港区)において新設する日和埠頭岸壁の実施設計を実施し、一部工事に着手した。			
		土木部 港湾課	ビジョン 関連:取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	568,580	-	-	-
17	④05	海岸改修事業(港湾)	318,794	港湾海岸における津波や高潮からの安全性を保持するため、海岸保全施設の整備及び適切な管理を推進する。				・仙台塩釜港(塩釜港区)の港地区において、港奥部に設置する水門の設計を完了した。			
		土木部 港湾課	ビジョン 取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	318,794	-	-	-
18	④06	港湾利用促進事業	22,166	コンテナ貨物の集荷促進と新規航路の開設や既存航路の安定化のための誘致活動(ポートセールス)を行う。				・集荷促進や企業誘致に向けて、企業訪問やセミナーの開催などのポートセールスを展開し、仙台塩釜港の利用拡大を推進した。 ・45フィートコンテナ輸送車両購入支援事業を継続して実施し、45フィートコンテナの普及拡大を推進した。			
		土木部 港湾課	ビジョン 取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	22,166	-	-	-



19	④ 07	港湾活性化推進事業	非予算的手法	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		統合した新たな仙台塩釜港において、各港の機能と役割を明確にし、スケールメリットを活かした効率的・効果的な港湾の管理・運営並びに利活用促進を図るため、連絡会議開催等による港湾関係者との連携の強化及び協働活動を推進する。				・仙台塩釜港管理・運営協議会を開催し、関係市町との連携強化を図るとともに、県の港湾行政に係る情報共有を行った。					
		土木部 港湾課	ビジョン 取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	ある程度 成果が あった	—	維持	-	-	-	-
20	⑤ 01	仙台空港整備事業	536,136	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		仙台空港の運用に必要な空港施設を改修するとともに、救急・救命活動等の拠点機能や緊急物資・人員等の輸送受入機能等を確保するため、空港の耐震化を推進する。				・B滑走路の耐震化L=251mの完了。					
		土木部 空港臨空地域課	ビジョン ※取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果が あった	効率的	維持	536,136	-	-	-
21	⑤ 02	仙台空港利用促進事業	9,366	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		仙台空港の路線充実・拡大のため、エアポートセールスを行うほか、航空機を使った旅行需要を喚起するための利用促進事業を行う。				・知事及び副知事によるトップセールスを含めたエアポートセールスを208件実施した結果、平成26年度は国内線で増便2路線、国際線1路線で増便(機材大型化も含む)が決定又は実施された。					
		土木部 空港臨空地域課	3②④再掲 ビジョン 取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果が あった	効率的	維持	9,366	-	-	-
22	⑤ 03	仙台空港民営化推進事業	38,261	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		仙台空港の更なる活性化を図るため、国が進める空港経営改革の動きに合わせ、空港の経営一体化及び民間運営委託を推進する。				・地域の実情を踏まえた空港民営化の実現に向け、国が実施する制度設計や運営権者の公募・選定への対応や、空港関連三セクやその株主、地元自治体等との協議・調整を図った。 ・県確認手続の実施(H26.6～12)。					
		土木部 空港臨空地域課	3②④に再掲 ビジョン 取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果が あった	効率的	維持	38,261	-	-	-
23	⑤ 04	仙台空港周辺整備対策事業	675	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
		仙台空港と空港周辺地域との調和ある発展を図るため、仙台空港周辺対策協議会に対して運営費を補助する。				・名取市、岩沼市の2協議会に対して運営費の補助を行い、協議会では、県及び市からの補助金を活用して空港周辺環境整備について調査研究を実施した。					
		土木部 空港臨空地域課	3②④に再掲 ビジョン 取組12	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	成果が あった	効率的	維持	675	-	-	-

24	⑤ 05	仙台空港600万人・5万トン実現推進事業	34,899	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				<p>仙台空港の民営化を契機とした宮城・東北の復興加速化を図るため、民営化に向けた機運醸成、情報発信を行う官民連携会議の開催のほか、旅客数600万人/年・貨物量5万トン/年の将来目標実現に向けた調査実証事業等を実施する。</p>				<p>・空港民営化の先進地である豪州の空港を視察したほか、航空旅客・貨物量拡大に向け以下の調査実証事業を実施。          仙台空港国内線利用者アンケート調査          航空機利用の東北広域観光推進企画          仙台空港航空貨物ポテンシャル調査          ・「仙台空港600万人・5万トン実現サポーター会議」2回(H26.6, H27.2)開催し、上記視察結果や調査内容等の報告を行い、サポーターと情報を共有。          ・上記活動の結果、サポーター数は320者までに増加した。</p>			
	経済商工観光部 富県宮城推進室	3②① 再掲 ビジョン 取組5	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29	
決算(見込)額計		107,894,879	妥当	成果があった	効率的	維持	34,899	-	-	-	
決算(見込)額計(再掲分除き)		107,850,614									